

Data Contents

33
34
36
38

経済動向

- 九州の鉱工業生産動向
- 福岡県の最近の経済動向
- 熊本県の最近の経済動向
- 長崎県の最近の経済動向

40
41
42
43

経済指標

- 全国のデータ
- 福岡県のデータ
- 熊本県のデータ
- 長崎県のデータ

44

貿易お役立ち情報

49

FFGニュース



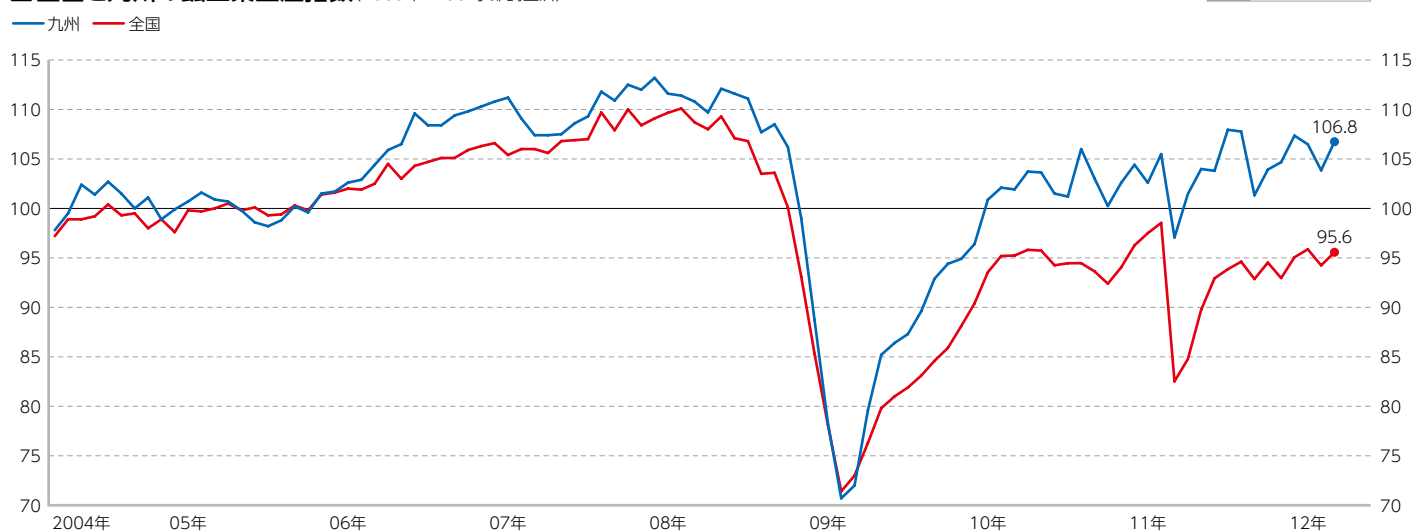
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 生産は持ち直しの動きが続いている

電子部品・デバイスや非鉄金属の生産に回復の動きが見られる等、持ち直しの動きが続いています。2012年3月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.9%上昇の106.8と2ヵ月ぶりに上昇しました。

■全国と九州の鉱工業生産指数 (2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

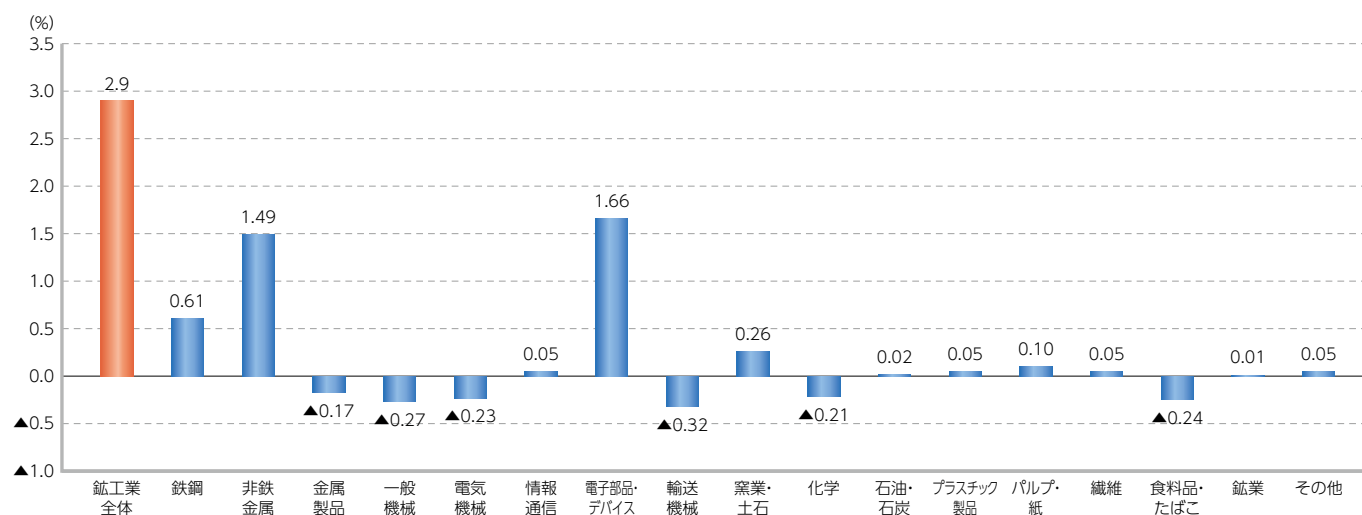


業種別動向 | 電子部品・デバイス、非鉄金属、鉄鋼等で上昇

業種別の寄与度をみると、電子部品・デバイスであるイメージセンサー(携帯電話やデジカメ向け)や自動車向けマイコンの上昇、また非鉄金属の上昇(生産設備のトラブルによって一時的に落ち込んでいた銅製品の生産が設備復旧に伴い回復)に加え、自動車向け鋼板の増産が鉄鋼の上昇に作用し、鉱工業全体のプラスに寄与しました。

■業種別寄与度 (鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いているものの、一部に減速傾向が見られる

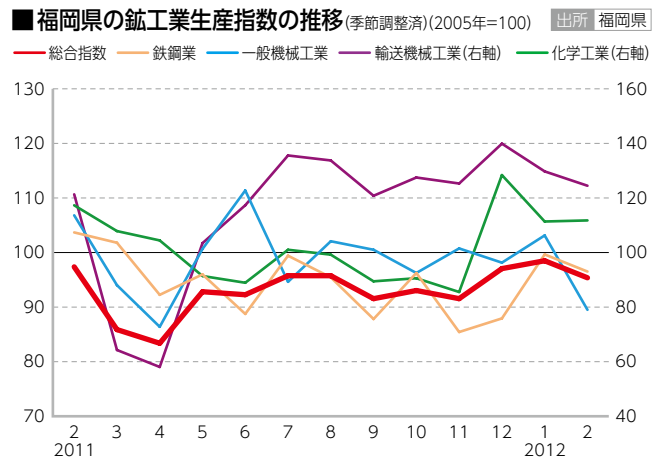
生産活動については、輸送機械は、自動車生産が高操業を維持する等、持ち直しの動きが続く一方で、一般機械が低下する等、一部業種に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、新博多駅ビル開業から1年が経過したことで開店効果が一巡したものの、春物衣料品が好調だったこと等により、ほぼ前年並みとなっています。一方企業倒産は、複数の大型倒産が発生したことで、負債総額は大幅に増加しました。

1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに低下

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.2となり前月比3.3%低下しました。

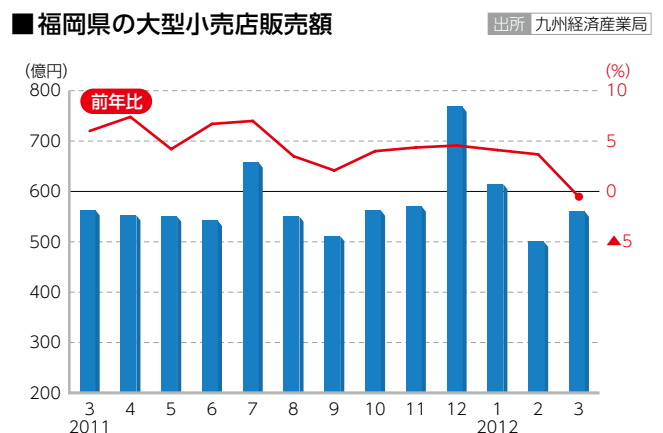
主要業種では、輸送機械は、震災以降の回復局面で最高水準の自動車生産台数を維持する等、持ち直しの動きが続く一方で、フラットパネルディスプレイ製造装置が不振だった一般機械が低下する等、一部業種に減速傾向が見られます。



2. 大型小売店 | 14ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比0.5%減の560億円で、14ヵ月ぶりに前年を下回りました。

新博多駅ビル開業から1年が経過したことで開店効果が一巡した一方、春物衣料品等が好調だったことから、全体ではほぼ前年並みの水準となりました。



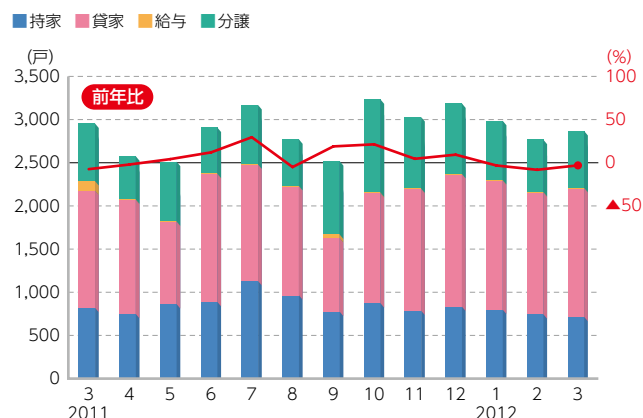
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、2,867戸と前年同月比2.9%減少し、3ヵ月連続で前年を下回りました。

貸家が増加し、分譲マンションも一定水準を維持している一方で、持家が減少し、全体としてはマイナスとなりました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



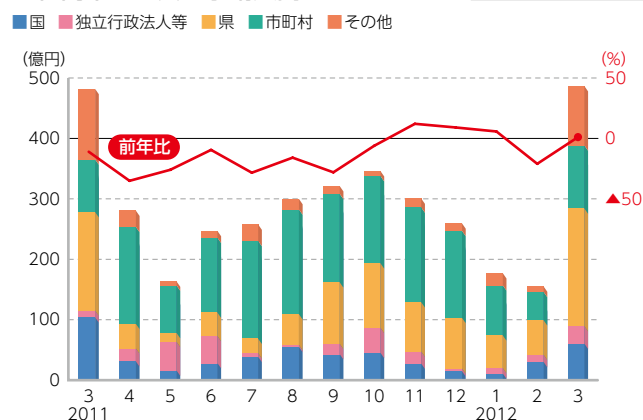
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比13.3%減の856件、金額は同1.0%増の487億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、学校関連施設等の大型案件があった「県」、「市町村」で前年を上回った他、「独立行政法人等」も大幅に増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

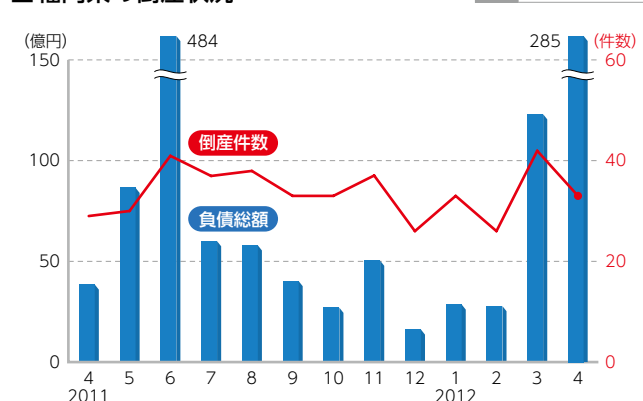


5.企業倒産 | 大型倒産の発生により負債総額は大幅に増加

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比13.8%増の33件、負債総額は、製造業で2件(負債額合計約243億円)の大型倒産が発生したこと等により、同7倍超の285億円となる等、件数、負債総額ともに前年を上回っています。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

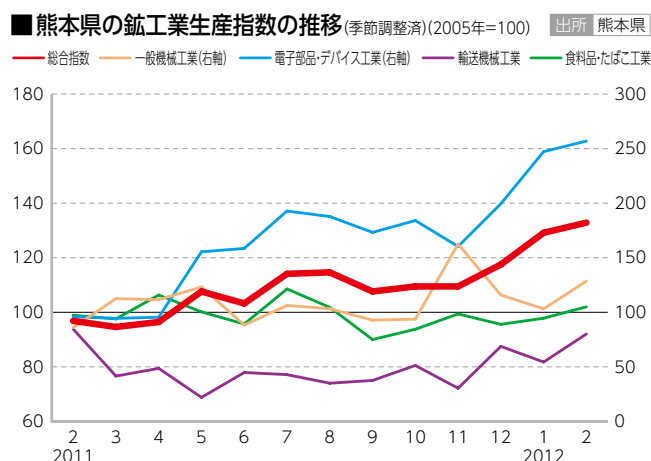
生産活動については、国内自動車・スマートフォン向け半導体集積回路で高操業を続ける電子部品・デバイスを中心に、幅広い分野で上昇しており持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、春物衣料品販売の好調や、昨年の大型ショッピングセンター閉店から1年が経過し影響が一巡したこと等から13ヵ月ぶりに前年を上回りました。住宅建設は、分譲、貸家の着工が好調で前年を上回っています。

1.生産活動 | 総合指数は5ヵ月連続で上昇

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は132.4となり、前月比2.6%上昇しました。

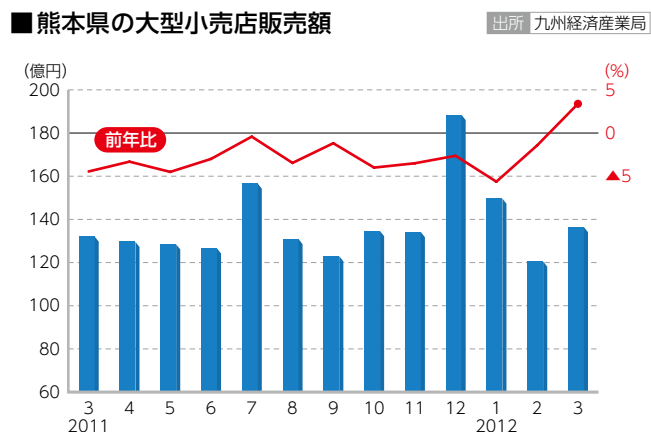
主要産業では、国内自動車・スマートフォン向け半導体集積回路で高操業が続いている電子部品・デバイスが上昇した他、特殊産業機械が増産となった一般機械に加え輸送機械も上昇したこと等がプラスに寄与しました。



2.大型小売店 | 13ヵ月ぶりに前年を上回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比3.4%増の137億円と、13ヵ月ぶりに前年を上回りました。

昨年1月、2月の大型ショッピングセンター閉店から1年が経過し影響が一巡したことや、春物衣料品販売が好調だったこと等により前年を上回っています。



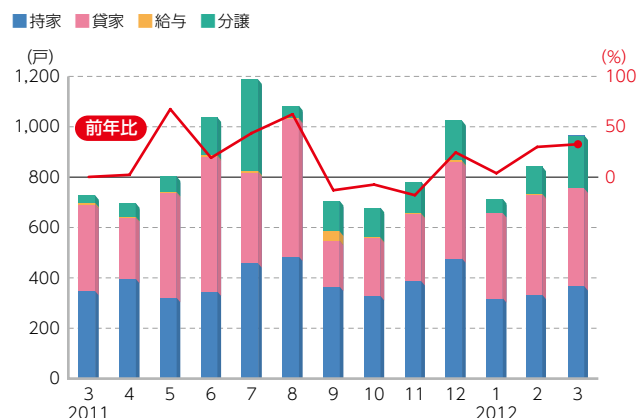
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

3月の住宅着工戸数は、前年同月比32.6%増の965戸と4ヵ月連続で前年を上回りました。

分譲において、戸建の他、在庫調整の進展を受けたマンションの着工が増加傾向にあったことに加え、持家、貸家も増加したことがプラスに寄与しました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



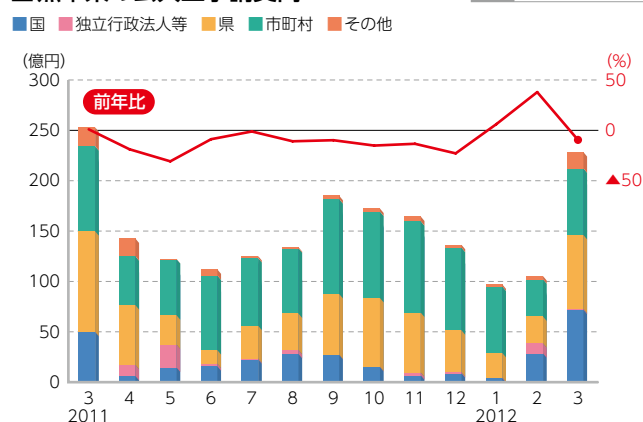
4.公共工事 | 請負金額は3ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比10.3%減の425件、金額は同9.7%減の228億円となり、請負金額は3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、高速道路関連で複数の大型案件があった「国」は前年を大きく上回ったものの、「県」、「市町村」は例年に比べ大型案件に乏しく前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



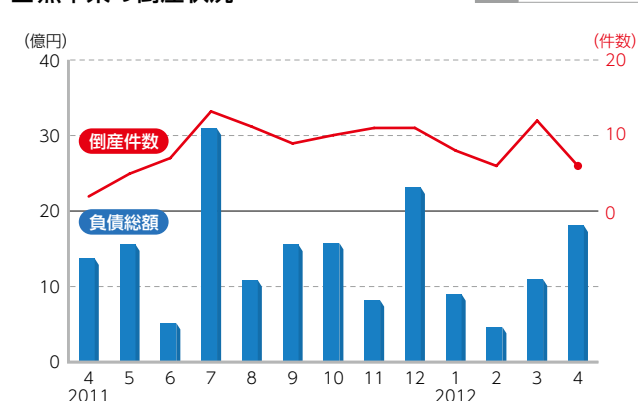
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比3倍の6件、負債総額は同31.8%増の18億円となりました。

鋼材加工業で約8億円、精密機械部品加工業で約4億円の大型倒産があり、負債総額は3ヵ月連続で増加しました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いているものの、一部に減速傾向が見られる

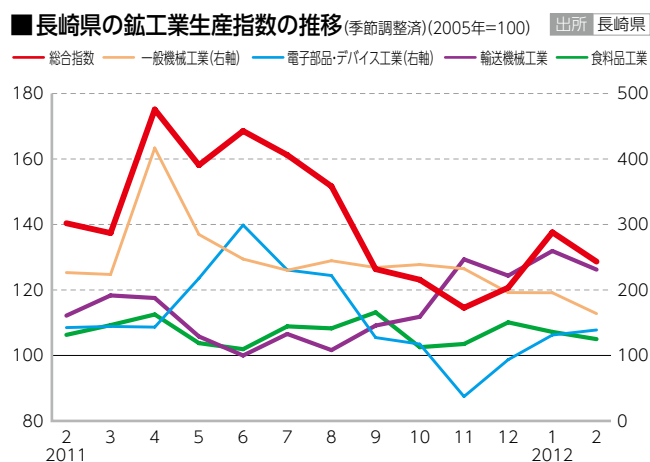
生産活動については、輸送機械が、新造船の建造が一定の操業度を維持している他、電子部品・デバイスでは在庫調整が進展し増産となる等、持ち直しの動きが続く一方で、一般機械が低下する等、一部業種に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年7月末の百貨店閉店の影響が続いており、8ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設については、貸家の着工が相次いだことで前年を大きく上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに低下

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は128.5となり、前月比6.3%低下しました。

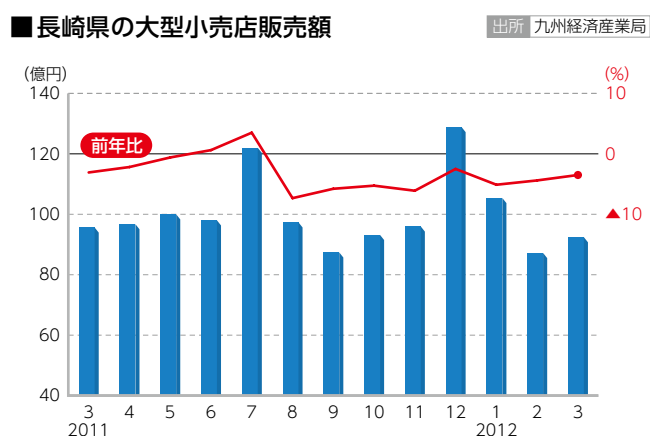
主要産業では、一定の操業度を維持している造船等の輸送機械が堅調に推移している他、電子部品・デバイスでは在庫調整が進展し増産となる等、持ち直しの動きが続く一方で、一般機械においては原動機が生産商品の入れ替え時期であったことから低下する等、一部業種に減速傾向が見られます。



2.大型小売店 | 8ヵ月連続で前年を下回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比3.5%減の92億円と、8ヵ月連続で前年を下回りました。

一部衣料品や家具等は前年を上回ったものの、昨年7月末の百貨店閉店の影響が続いており、全般的に低調に推移しています。





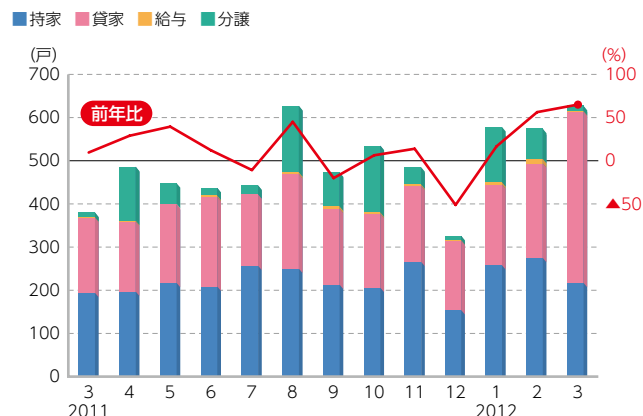
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比65.0%増の627戸と前年を上回りました。

長崎市街地を中心に賃貸マンションの着工が相次ぎ、貸家が大幅に増加した他、持家も前年を上回ったことがプラスに寄与しました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



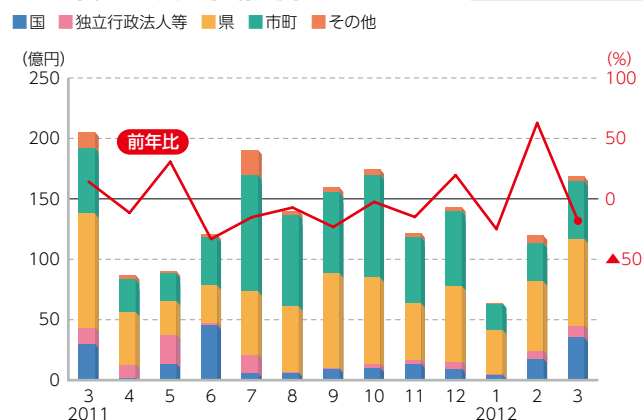
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比21.8%減の347件、金額は同18.0%減の169億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、係船施設工事等の大型案件があった「国」以外の全ての発注者で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数とともに前年を上回る

4月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、件数は前年同月比66.7%増の5件、負債総額は同54.2%増の15億円となりました。

消費者金融業で約10億円、機械部品卸業で約4億円の大型倒産があり、負債総額は前月比で増加しました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

